

科目名称：信州大学農学部公開森林実習「自然の成り立ちと山の生業演習」

2単位、標準履修年次：2年生以上

担当教員：小林 元、荒瀬輝夫、白澤紘明、長田典之（北海道大学）

実施時期：平成28年9月13日（火）～9月16日（金）

集合時刻：平成28年9月13日（火） 12：00

集合場所：JR小海線 野辺山駅

〒384-1305 長野県南佐久郡南牧村野辺山306

問合せ先：信州大学農学部学務グループ

TEL：0265-77-1309 FAX：0265-77-1313

Email：agakumu@shinshu-u.ac.jp

実施場所：信州大学農学部附属アルプス圏フィールド科学教育研究センター(AFC)

野辺山ステーション・構内ステーション・手良沢山ステーション

筑波大学農林技術センター川上演習林

地図：

対象学生：単位互換協定締結校の大学生、2年生

以上（協定締結校以外の学生は末尾注意事項参照）

定員：12名

※応募者多数の場合は選考があります



実習課題：「中部山岳域における自然の成り立ちと山の生業」

本演習は、本格的なフィールド演習の未経験な非農学部生にも、中部山岳域における「自然の成り立ち」から森林作業と木材加工による「山の生業」までを安全に体験出来る初心者向けのダイジェスト演習として開催します。

実習内容：

- ・初日 【原野植生におけるフィールド演習】 正午：JR小海線野辺山駅集合。野辺山ステーションにてガイド後、野辺山高原の原野植生にてフィールド演習。夜：アカデミックワールド（教職員による研究紹介）。野辺山ステーション宿泊。
- ・2日目 【天然林におけるフィールド演習】 午前～午後：川上演習林にてフィールド演習、試料採集、分析。夜：アカデミックワールド（教職員による研究紹介）。野辺山ステーション宿泊。
- ・3日目 【伐採体験と木工実習】 午前：構内ステーションにて伐採作業を体験する。午後：木工実習にて鉛筆立てを作成する。手良沢山ステーション宿泊。
- ・4日目 【人工林における施業方法の学習】 午前：手良沢山ステーション内で植林地を見学し、人工林施業を学ぶ。午後：伊那キャンパスに移動し、レポート・アンケートを作成した後15時ごろ解散。

参加費用：食費、宿泊費、傷害保険代を併せて8,000円

※初日のガイド前日に徴収します。なお集合場所までの旅費は自己負担になります。

提出書類：自大学の学務（教務）担当者と相談の上、下記の書類を提出してください。
受入身分について等、不明な点がある場合は下記問合せ先へご連絡ください。

- ①依頼書（履修希望学生の所属大学学部長から信州大学農学部長へ）
- ②履修願（履修希望学生から信州大学農学部長へ）
- ③申告書（履修希望学生から所属大学学部長へ）
- ④受講志望理由書（別紙）
- ⑤学生教育研究災害保険の加入を証明する文書のコピー
- ⑥成績証明書

※書類は、所属大学・学部の学務（教務）係等に問合せください。

提出先：所属大学・学部の学務（教務）係等

書類送付、問合せ先：信州大学農学部学務グループ

住所：〒399-4598 長野県上伊那郡南箕輪村8304

TEL：0265-77-1309 FAX：0265-77-1313

Email：agakumu@shinshu-u.ac.jp

※送付の際には、封筒の表に「公開森林実習受講申込書在中」と朱書き願います。

提出締切：平成28年7月8(金)信州大学農学部必着

キャンセルポリシー：開催1週間前以降のキャンセルについては宿泊費、食事代および保険代を、1日前および実施期間中のキャンセルについては参加費用全額を支払っていただきます。

注意事項：本演習は、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター森林圏ステーションが主催する「森林フィールド講座」と合同で開催いたします。特別聴講学生として申込み場合は「自然の成り立ちと山の生業演習」（定員12名）の枠、特別聴講学生とならない場合は、北海道大学が募集する「森林フィールド講座」（定員12名）の枠で申し込んでください。実習の日時と内容は同一です。

「森林フィールド講座」ホームページ：<http://forest.fsc.hokudai.ac.jp/~kyoten/jissy.html>

※ 募集の詳細は5月以降公開予定